

7 社長年頭挨拶骨子

-
- (1)1998(平成10)年 「コスト半減」に取り組み、中期経営計画の実現を
 ・製品の最終到達目標の明確化 ・「高品質・低コスト・短納期」の一層の徹底
 ・業務の簡素化・効率化によるムダの排除
-
- (2)1999(平成11)年 二十一世紀に世界的な企業として発展できる経営体質の構築を
 ・「コスト半減」、「中期経営計画」の実現
-
- (3)2000(平成12)年 危機意識をもって経営改革に全力で取り組もう
 ・「経営改革の年」と位置付け中期経営計画の重点施策を実行
-
- (4)2001(平成13)年 2001年を当社再生の新たな出発点に
 ・2001年度の黒字達成 ・経営指針：質主・量従型経営の展開
 ・所属する事業に対する帰属意識の深化と従業員一人ひとりのプロフェッショナル化
-
- (5)2002(平成14)年 復活の礎を築く年、変革に果敢に挑戦を
 ・質主量従型経営の徹底による収益の拡大 ・変革への挑戦
-
- (6)2003(平成15)年 ビジネスモデルの変革に果敢に挑戦を
 ・ビジネスモデルの変革による収益力の向上 ・品質管理と法令順守(コンプライアンス)の徹底
-
- (7)2004(平成16)年 実りある成長へー 「戦う集団」を目指して
 ・製品競争力の強化 ・企業風土の改革：プロ意識に支えられた「戦う集団」へ
-
- (8)2005(平成17)年 変革の荒波を乗り越え新たな飛躍へ
 ・収益基盤強化に向けて構造改革を推進し質主量従を徹底、活気溢れるプロ集団を目指す
-
- (9)2006(平成18)年 一さらなる飛躍の出発点としてー 川崎重工グループの総力で現中計目標を達成しよう
 ・ビジネススキームも含めた提案力を鍛えマーケティング力を強化
 ・連結経営利益率5%以上の実現 ・コンプライアンスの徹底
-
- (10)2007(平成19)年 ー新しいステージへーの出発点としてー 川崎重工グループ全体で新中計目標達成に向けて踏み出そう
 ・ROIC9%の達成に向けて最後まで最大限の努力を(「K21」の総仕上げ)
 ・「Global K」の達成に向けてアクションプランを確実に始動
 ・コンプライアンスの徹底 ・安全の確保
-
- (11)2008(平成20)年 ーミッションステートメントをエンジンにしてー 川崎重工グループ全体で「Global K」達成を確実なものにしよう
 ・中間見直し後の「Global K」アクションプランの確実な実行
 ・カワサキグループ・ミッションステートメントを会社の羅針盤に
 ・コンプライアンスの徹底 ・安全の確保
-
- (12)2009(平成21)年 オールカワサキで世界的な景気後退を乗り越え、「収益力の高いグローバル企業」を目指そう
 ・景気後退の深刻化に備え経営体質を引締め、来るべき飛躍に向けて必要な準備を行い、全社一丸となって困難を乗り越えよう
-
- (13)2010(平成22)年 グループミッション実現に向け、新たな一歩を踏み出そう
 ・提案型ビジネスを展開し多様な市場のニーズに即した製品を提供
 ・長期視点に立った将来事業の育成と強化
 ・4社統合によるグループ全体の「知的資産」の効率的かつ迅速な融合と活用
 ・働きやすい職場環境と安全の重視
-
- (14)2011(平成23)年 成長軌道への復帰と持続的成長へ向けて
 ・「中計2010」と「Kawasaki事業ビジョン2020」について
 ・ソリューションビジネスの強化
 ・川崎重工グループ全体での社会的責任(CSR)への取組強化
 ・働きやすい職場環境と安全の重視
-

(15)2012(平成24)年	<p>「中計2010」の最終年度に向けて中計目標の達成と成長軌道への復帰を確実なものとしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上と大規模プロジェクト案件のリスク管理の徹底 ・中国におけるパートナーとの信頼関係の維持・強化 ・エネルギー・環境ビジネスの強化 ・人財育成 ・職場環境の整備 ・ダイバーシティの強化 ・コンプライアンスの徹底
(16)2013(平成25)年	<p>厳しい経営環境を乗り越え、次期中計につなげよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルレベルで広がるエネルギー・環境問題に対し、総合技術力によって解決策を提案 ・安全衛生管理の徹底 ・ダイバーシティへの対応 ・人財の育成 ・コンプライアンスの徹底 ・「Kawasaki」ブランドの価値向上
(17)2014(平成26)年	<p>「人」の集まる魅力的な企業として歩み続けよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「質量量従」の徹底と「選択と集中」の推進 ・グローバルレベルでの最適生産・最適調達の追求 ・財務体質の強化 ・安全で風通しの良い職場環境づくり
(18)2015(平成27)年	<p>テクノロジーの頂点を目指し、成長し続けよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シナジー(相乗作用)追求によるコア・コンピタンス(競争優位性)の強化 ・「グループ経営モデル2018」による戦略的な成長 ・強靱な財務体質の構築、職場の安全衛生強化
(19)2016(平成28)年	<p>挑戦する熱意をもって、新しい歴史を創り出そう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中計2016」の基本方針(①キャッシュフロー重視の経営、②コア・コンピタンスの強化と新製品・新事業への挑戦、③人財の育成と活用、④リスクマネジメントの再徹底)の徹底 ・職場の安全衛生強化
(20)2017(平成29)年	<p>全員参加で「Kawasaki-ROIC経営」に取り組もう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中計2016」の基本方針・重点施策の徹底 ・働き方改革の推進 ・職場の安全衛生強化
(21)2018(平成30)年	<p>“カワる、サキへ。Changing forward”変化を恐れず挑戦していこう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中計2016」数量目標の達成に向けて基本方針・重点施策の徹底 ・働き方改革の推進 ・職場の安全衛生強化
(22)2019(平成31)年	<p>信頼回復に向けチャレンジしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中計2019」の基本方針案の提示 ・重点施策(①品質管理体制のさらなる強化、②新たな顧客価値の提供、③Kawasaki-ROIC経営の推進、④組織・風土改革「カワる、サキへ。」)の取組み ・職場の安全衛生強化
(23)2020(令和2)年	<p>自律的事業経営と全社的企業統治の両立を目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中計2019」の基本方針(①財務基盤の強化、②事業ポートフォリオの全体最適化、③ビジネスモデルの革新、④組織・風土改革)の徹底 ・職場の安全衛生強化
(24)2021(令和3)年	<p>グループビジョン2030実現に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループビジョン2030事業方針について <ul style="list-style-type: none"> (1)今後注力するフィールド 安全安心リモート社会、近未来モビリティ、エネルギー・環境ソリューションと設定 (2)新事業体制への移行 陸・空輸送システム、モーションコントロール&モータービークル、エネルギー&マリンエンジニアリングのグループでの事業体制に移行 (3)成長シナリオ ビジネスモデルの見直しや新規事業開発などに取り組むことによって、高収益体質を構築(「モノ売り」から「コト売り」の事業へシフト)